長久手市将来人口推計

（Ｈ２４改訂版）

１．本市の将来推計人口フレーム――――――――――――――――――――――――― １

２．推計方法―――――――――――――――――――――――――――――――― ２

（１）推計方法 ･･･ 2

（２）推計のための基礎数値 ･･ 3

（３）特殊要因としての今後の開発動向 ･････････････････････････････････ 7

３．人口推計―――――――――――――――――――――――――――――――― ９

（１）総人口 ･･･ 9

（２）年齢別人口 ･･ 11

（３）学区別人口 ･･ 13

2012（H24）年６月

1　本市の将来推計人口フレームの見直し

国全体の傾向として、日本人に限ってはすでに人口減少時代を迎え、大都市圏を除く４分の３の都道府県ではすでに人口が減少している。愛知県は、依然として東京都に次ぐ人口増加率を示しているものの、2015～2020 年頃の 744 万 5 千人～748 万 2 千人をピークに減少すると予測している（愛知県「政策指針 2010-2015）2010(H22)年３月)。

本市については、平成 20 年度に策定した第 5 次長久手市総合計画において、将来推計人口フレームを 2018(H30)年に 63,000 人と設定したところである。

その後、2010(H22)年に新たに国勢調査の数値が確定・公表され、2000(H12)～2005(H17)年は人口増加が鈍化したものの、2005(H17)～2010(H22)年にかけて、再び堅調な増加傾向にあることがわかった。

この人口増加に影響するのは、自然増加と社会増加であるが、このうち、自然増加は 0～4 歳人口がすでに減少傾向にあり、全国、愛知県全体の傾向を見ても出生率の増加は期待できない。しかしながら、本市のまちの魅力の向上により若い世代の定着や転入により増加し、結婚・出産によって出生数の減少の鈍化や維持する事も考えられる。一方、75 歳以上人口が今後確実に増加するため、死亡者数が増加するものの、長寿化により 75 歳以上の高齢者でもしばらくは生存し、自然増加数の減少に歯止めがかかるものと考えられる。

一方、社会増加は、すでに土地区画整理事業が完了・概成済みである西小学校区や南小学校区がこれまで市外からの転入者の受け皿となってきたが、今後は増加が鈍化すると予想される。これらの学区に加え、現在施行中の長湫南部土地区画整理事業や新たに予定されている開発地区、あるいは近年、大規模集合住宅の建設が進んでいる点も加味する必要がある。

これらを総合し、新たな国勢調査の数値の公表や総合計画策定後の社会動向の変化を考慮し、将来推計人口の見直しを行った。その結果、当面は 2005（H17）年以降の堅調な人口増加傾向が続くものの、愛知県の推計では 2015（H27）年以降は県全体の人口が減少すると予測していることから、同年以降は、本市においても増加が鈍化した 2000（H12）－2005（H17）年の傾向になると予測する。このことから、中位推計（P9 参照）が本市の実情に合致すると考え、本市の将来人口フレームを以下のように設定する。

2010(H22)年	2020(H32)年	2030(H42)年	2040(H52)年
５２，０２２人	**５８，０００人**	**６２，０００人**	**６４，０００人**

2　推計方法

（1）推計方法

将来人口の推計には、「コーホート要因法」を用いる。コーホートとは、同期間に出生した集団のことを指し、このような人口集団の変化量、変化率を用いることにより、年次的に追跡し目標年次の人口を求める方法である。

また、コーホート要因法とは、男女別・年齢別人口構成を考慮し、人口の増減の要因となる自然増減（出生と死亡）及び社会増減（転出入）という２つの人口動態要因をもとに、将来人口を推計するものである。

推計の種別として、本市では社会増減数の変動が人口動向に大きく影響するため、以下の３つの推計を行い、考察した。

低位推計：市の人口増加傾向が終わって人口の伸びが鈍化すると予測 （国の推計値を活用）
中位推計：近年の本市の人口増加傾向が愛知県全体で人口減少を迎える 2015 年頃まで続き、 その後は人口の伸びが鈍化すると予測（愛知県人口動向調査の数値を活用）
高位推計：愛知県全体で人口減少を迎える 2015 年以降も本市ではしばらく人口増加傾向が 続くと予測（愛知県人口動向調査の数値を活用）

また、コーホート要因法による推計値に加え、特殊要因として開発等による人口増分も別途加算するものとする。

（２）推計のための基礎数値

①基礎人口

2005(H17)年及び2010(H22)年の国勢調査（各年10月1日現在)による男女別年齢別人口を用いる。国勢調査は５年毎に調査が行われるので、ある調査時点の0～4歳は、次の調査時点では5～9歳となり、この５歳階級毎の変化量・変化率がコーホートにあたる。

②生残率

すでに生まれている人口の自然減については、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」により、本市の男女別年齢別生残率の値を用いる。

③移動数・移動率

すでに生まれている人口の移動（社会増減）については、「日本の市区町村別将来推計人口」及び「愛知県人口動向調査（各年10月1日現在)」により、推計人口の５歳階級別社会増減数の長久手市の値を用いる。

④出生率

新たに生まれる人口の増加（自然増）については、「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」より、本市の子ども女性比の値（母親となる女子人口（15～49歳）が各５年間で子どもを産む比率の仮定値）を用いる。

また、生まれてくる子どもの性比も、「日本の市区町村別将来推計人口(2008(H20)年12月推計)」の値を用いる。

なお、本推計において参考にした「日本の市区町村別将来推計人口」では2035(H47)年までの推計値が出されている。以降、長期的な傾向を見るために2035(H47)年以降の数値も算出しているが、上記の②～④の数値は2035(H47)年以降一定としている。

○ ①基礎人口

国勢調査では、総人口の内訳として年齢不詳が含まれる。これらを各年齢階級層の比率に応じて按分して推計値の算出に活用する。

男女別年齢別人口（長久手市）

	2005(H17)年			2010(H22)年		
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性
0～4 歳	2,637	1,343	1,294	3,154	1,568	1,586
5～9	2,605	1,322	1,283	3,058	1,587	1,471
10～14	2,255	1,171	1,084	2,670	1,369	1,301
15～19	3,192	1,699	1,493	3,301	1,717	1,584
20～24	5,043	2,780	2,263	4,408	2,293	2,115
25～29	3,608	1,883	1,725	3,355	1,633	1,722
30～34	4,379	2,240	2,139	4,400	2,238	2,162
35～39	3,949	2,044	1,905	5,040	2,520	2,520
40～44	3,298	1,730	1,568	4,142	2,166	1,976
45～49	2,487	1,247	1,240	3,324	1,697	1,627
50～54	2,521	1,254	1,267	2,493	1,238	1,255
55～59	2,902	1,441	1,461	2,491	1,207	1,284
60～64	2,399	1,190	1,209	2,886	1,402	1,484
65～69	1,732	905	827	2,359	1,130	1,229
70～74	1,311	648	663	1,681	864	817
75～79	915	411	504	1,223	582	641
80～84	598	233	365	814	329	485
85 歳以上	537	150	387	718	200	518
不詳	125	94	31	441	142	299
総数	46,493	23,785	22,708	52,022	26,100	25,922

資料：「国勢調査（各年 10 月 1 日）」

（年齢不詳分を各年齢階層に按分）（長久手市）

	2005(H17)年			2010(H22)年		
	総 数	男 性	女 性	総 数	男 性	女 性
0～4 歳	2,644	1,348	1,296	3,184	1,590	1,595
5～9	2,612	1,327	1,285	3,088	1,609	1,479
10～14	2,261	1,176	1,085	2,696	1,388	1,308
15～19	3,201	1,706	1,495	3,334	1,741	1,593
20～24	5,057	2,791	2,266	4,451	2,325	2,127
25～29	3,618	1,890	1,727	3,387	1,656	1,732
30～34	4,391	2,249	2,142	4,443	2,269	2,174
35～39	3,960	2,052	1,908	5,089	2,555	2,534
40～44	3,307	1,737	1,570	4,183	2,196	1,987
45～49	2,494	1,252	1,242	3,357	1,720	1,636
50～54	2,528	1,259	1,269	2,517	1,255	1,262
55～59	2,910	1,447	1,463	2,515	1,224	1,291
60～64	2,405	1,195	1,211	2,914	1,421	1,492
65～69	1,737	909	828	2,381	1,146	1,236
70～74	1,314	651	664	1,697	876	822
75～79	917	413	505	1,235	590	645
80～84	599	234	365	821	334	488
85 歳以上	538	151	388	724	203	521
総数	46,493	23,785	22,708	52,022	26,095	25,921

※：男女別、各年齢階級別の値を小数点以下で四捨五入しているため、合計値と必ずしも一致しない

○ ②生残率

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」により、2015(H27)年以降の男女別生残率の推計値が把握できる。

生残率（長久手市）

	男性					女性				
	2015年(H27)	2020年(H32)	2025年(H37)	2030年(H42)	2035年(H47)	2015年(H27)	2020年(H32)	2025年(H37)	2030年(H42)	2035年(H47)
0～4歳→5～9	0.9991	0.9992	0.9992	0.9993	0.9993	0.9993	0.9994	0.9994	0.9995	0.9995
5～9→10～14	0.9995	0.9995	0.9995	0.9996	0.9996	0.9996	0.9997	0.9997	0.9997	0.9997
10～14→15～19	0.9988	0.9989	0.9989	0.9990	0.9990	0.9994	0.9994	0.9994	0.9994	0.9995
15～19→20～24	0.9976	0.9977	0.9978	0.9979	0.9980	0.9989	0.9990	0.9990	0.9990	0.9991
20～24→25～29	0.9972	0.9973	0.9974	0.9974	0.9975	0.9988	0.9988	0.9989	0.9989	0.9989
25～29→30～34	0.9969	0.9969	0.9970	0.9971	0.9971	0.9984	0.9985	0.9985	0.9986	0.9986
30～34→35～39	0.9959	0.9960	0.9961	0.9962	0.9963	0.9978	0.9979	0.9980	0.9981	0.9981
35～39→40～44	0.9944	0.9946	0.9947	0.9949	0.9950	0.9969	0.9971	0.9972	0.9973	0.9973
40～44→45～49	0.9918	0.9922	0.9925	0.9927	0.9928	0.9954	0.9956	0.9958	0.9960	0.9961
45～49→50～54	0.9872	0.9880	0.9885	0.9889	0.9892	0.9928	0.9932	0.9935	0.9938	0.9940
50～54→55～59	0.9778	0.9791	0.9802	0.9811	0.9818	0.9888	0.9894	0.9898	0.9902	0.9906
55～59→60～64	0.9641	0.9658	0.9672	0.9684	0.9694	0.9839	0.9847	0.9853	0.9858	0.9862
60～64→65～69	0.9578	0.9607	0.9630	0.9648	0.9663	0.9801	0.9816	0.9828	0.9839	0.9847
65～69→70～74	0.9230	0.9286	0.9334	0.9373	0.9406	0.9637	0.9665	0.9688	0.9708	0.9725
70～74→75～79	0.8685	0.8770	0.8842	0.8903	0.8955	0.9382	0.9432	0.9475	0.9510	0.9541
75～79→80～84	0.7883	0.8020	0.8134	0.8231	0.8313	0.8843	0.8942	0.9023	0.9093	0.9153
80以上→85以上	0.5358	0.5508	0.5639	0.5753	0.5854	0.6144	0.6269	0.6377	0.6472	0.6557

資料：「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」

○　③移動数・移動率

本市の社会増減数をみると、2000(H12)年～2005(H17)年においては５年間で約 3,200 人の増加であったが、2006(H18)~2010(H22)年は約 5,500 人増を示し、52,022 人を記録した。このように、本市では社会増減数の変動が人口動向に大きく影響する。

一方、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年 12 月推計)」をみると、長久手市の人口は 2030 年頃の約 53,335 人をピークに減少すると推計されている。この推計値自体は、2005 年の国勢調査結果をもとに推計されており、2010 年時点での推計値 48,933 人に対し、52,022 人と 3,089 人のかい離が生じている。しかし、我が国全体の人口（日本人）が既に減少に転じていることから、この移動率を参考にした推計をしておくことも必要である。

そこで、日本の市区町村別将来推計人口による長久手市の移動率と、愛知県人口動向調査による本市の 2000(H12)～2005(H17)年の 5 年間、2006(H18)～2010(H22)年の 5 年間の年齢別社会増減数値を用いて比較する。

純移動率

	男性					女性				
	2015 年（H27）	2020 年（H32）	2025 年（H37）	2030 年（H42）	2035 年（H47）	2015 年（H27）	2020 年（H32）	2025 年（H37）	2030 年（H42）	2035 年（H47）
0～4 歳 →5～9	−0.02057	−0.02057	−0.02057	−0.02057	−0.02057	−0.02172	−0.02172	−0.02172	−0.02172	−0.02172
5～9 →10～14	−0.01370	−0.01370	−0.01370	−0.01370	−0.01370	−0.02227	−0.02227	−0.02227	−0.02227	−0.02227
10～14 →15～19	0.32293	0.30666	0.29490	0.29291	0.28592	0.12777	0.12388	0.11924	0.11834	0.11551
15～19 →20～24	0.33787	0.32669	0.31424	0.30520	0.30363	0.24375	0.23298	0.22687	0.21949	0.21802
20～24 →25～29	−0.27073	−0.27073	−0.27073	−0.27073	−0.27073	−0.19739	−0.19739	−0.19739	−0.19739	−0.19739
25～29 →30～34	0.01861	0.01700	0.01701	0.01658	0.01614	0.02157	0.02087	0.02186	0.02110	0.02070
30～34 →35～39	0.00457	0.00408	0.00374	0.00374	0.00364	−0.00200	−0.00200	−0.00200	−0.00200	−0.00200
35～39 →40～44	−0.00164	−0.00164	−0.00164	−0.00164	−0.00164	−0.02193	−0.02193	−0.02193	−0.02193	−0.02193
40～44 →45～49	−0.02843	−0.02843	−0.02843	−0.02843	−0.02843	0.00751	0.00743	0.00747	0.00666	0.00645
45～49 →50～54	0.02253	0.02053	0.02069	0.02015	0.01800	0.02233	0.02049	0.02028	0.02037	0.01820
50～54 →55～59	0.01554	0.01232	0.01125	0.01133	0.01105	0.01768	0.01459	0.01341	0.01327	0.01334
55～59 →60～64	0.03436	0.02958	0.02352	0.02150	0.02167	0.02737	0.02385	0.01973	0.01816	0.01797
60～64 →65～69	0.02032	0.01991	0.01722	0.01377	0.01261	0.02072	0.02007	0.01755	0.01457	0.01343
65～69 →70～74	0.01822	0.01785	0.01751	0.01518	0.01217	0.02541	0.02426	0.02352	0.02061	0.01716
70～74 →75～79	0.03811	0.03321	0.03256	0.03196	0.02778	0.04516	0.03450	0.03297	0.03199	0.02812
75～79 →80～84	0.04566	0.03770	0.03303	0.03243	0.03187	0.04489	0.03815	0.02944	0.02817	0.02737
80 以上 →85 以上	0.03913	0.03425	0.02936	0.02561	0.02385	0.06430	0.06012	0.05402	0.04552	0.04080

資料：「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計）」

国勢調査の実績値（A）と日本の市区町村別将来推計人口（2008 年時点）の推計値（B）の比較

	2005 年	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年
A(実績値)	46,493	52,022					
B(推計値)		48,933	50,636	52,001	52,908	53,335	53,310

資料：「国勢調査（各年 10 月 1 日）」「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年 12 月推計）」

年齢別社会増減数（長久手市、年平均）

	2000(H12)→2005(H17)年	2006(H18)→2010(H22)年
0～4 歳	−15	107
5～9	−13	26
10～14	−9	7
15～19	171	115
20～24	−23	8
25～29	109	125
30～34	16	171
35～39	−13	59
40～44	−10	20
45～49	12	2
50～54	5	2
55～59	8	12
60～64	0	14
65～69	2	14
70～74	7	9
75～79	6	15
80～84	6	10
85 歳以上	6	14
総　数※	266	729
	人口の増加が鈍化	堅調な人口増加

※：各年齢階級別の値を小数点以下で四捨五入しているため、合計値と必ずしも一致しない

資料「愛知県人口動向調査」

○　④出生人口に関する数値

出生率については、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」の数値で、子ども女性比（5年間で15～49歳の女性から生まれた0～4歳の子どもの比率＝0～4歳の人口の合計／15～49歳の女性人口の合計)、0～4歳人口の性比（5年間で生まれた子どもの性比、女児を100とした場合の男児の比率）が把握できるため、その数値を用いる。

子ども女性比及び0～4歳性比

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
子ども女性比	0.17165	0.16604	0.17386	0.18259	0.18616
0～4歳性比	105.79	105.8	105.8	105.8	105.81

資料：「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年12月推計)」

（3）特殊要因としての今後の開発動向

今後、区画整理事業や民間事業者による住宅地開発により、長久手小学校区、東小学校区、北小学校区等で、新たな大規模住宅地開発(計画戸数100戸以上)が計画されている。この結果、市外からの転入分が3,000人程度増加すると見込まれる。

3　人口推計

（1）総人口

総人口の推計にあたっては、2000(H12)年と 2005(H17)年の実績値をもとに５年ごとの推計値を算出した。その結果は次のとおりであり、すでに述べたとおり（P１参照）中位推計を採用する。

①低位推計

2035(H47)年頃の約 60,000 人をピークとし、以降は減少すると推計される。

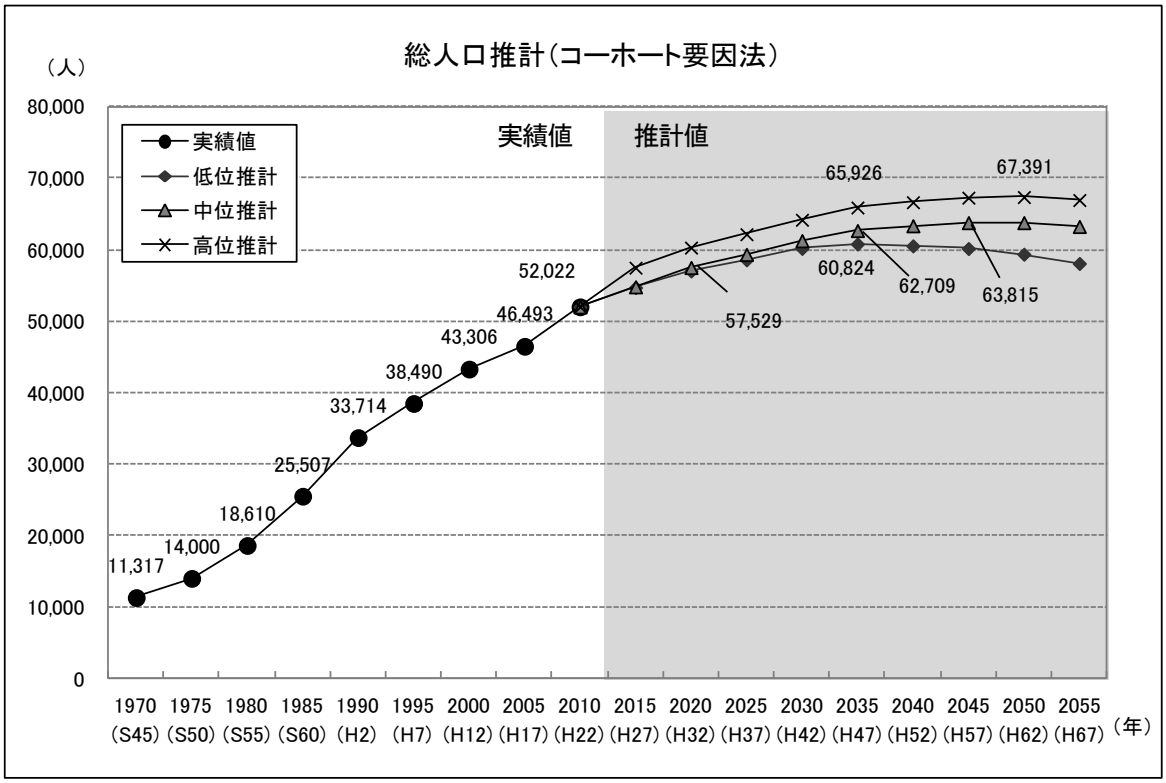
②中位推計

2020（H32）年に 58,000 人、2040（H52）年に 63,000 人に到達。

2045(H57)～2050(H62)年頃の約 64,000 人をピークとし、以降は減少すると推計される。

③高位推計

2045(H57)～2050(H62)年頃の約 67,000 人をピークとし、以降は減少すると推計される。



資料：「国勢調査」「愛知県人口動向調査」「日本の市区町村別将来推計人口」による推計

総人口推計値

	実績値	推計値		
		低位推計	中位推計	高位推計
1970(S45)年	11,317			
1975(S50)年	14,495			
1980(S55)年	18,610			
1985(S60)年	25,507			
1990(H2)年	33,714			
1995(H7)年	38,490			
2000(H12)年	43,306			
2005(H17)年	46,493			
2010(H22)年	52,022			
2015(H27)年		54,723	54,828	57,502
2020(H32)年		57,044	57,529	60,315
2025(H37)年		58,604	59,362	62,187
2030(H42)年		60,206	61,288	64,209
2035(H47)年		60,824	62,709	65,926
2040(H52)年		60,558	63,375	66,666
2045(H57)年		60,184	63,815	67,305
2050(H62)年		59,388	63,813	67,391
2055(H67)年		58,091	63,274	66,971

資料：「国勢調査」「愛知県人口動向調査」「日本の市区町村別将来推計人口」による推計

【参考】　特殊要因（開発動向）を含まない場合の総人口推計値

	実績値	推計値		
		低位推計	中位推計	高位推計
2010(H22)年	52,022			
2015(H27)年		54,092	54,196	56,870
2020(H32)年		55,620	56,105	58,891
2025(H37)年		56,385	57,143	59,968
2030(H42)年		57,352	58,434	61,355
2035(H47)年		57,745	59,630	62,847
2040(H52)年		57,434	60,251	63,542
2045(H57)年		57,040	60,670	64,160
2050(H62)年		56,227	60,652	64,230
2055(H67)年		54,937	60,121	63,818

資料：「国勢調査」「愛知県人口動向調査」「日本の市区町村別将来推計人口」による推計

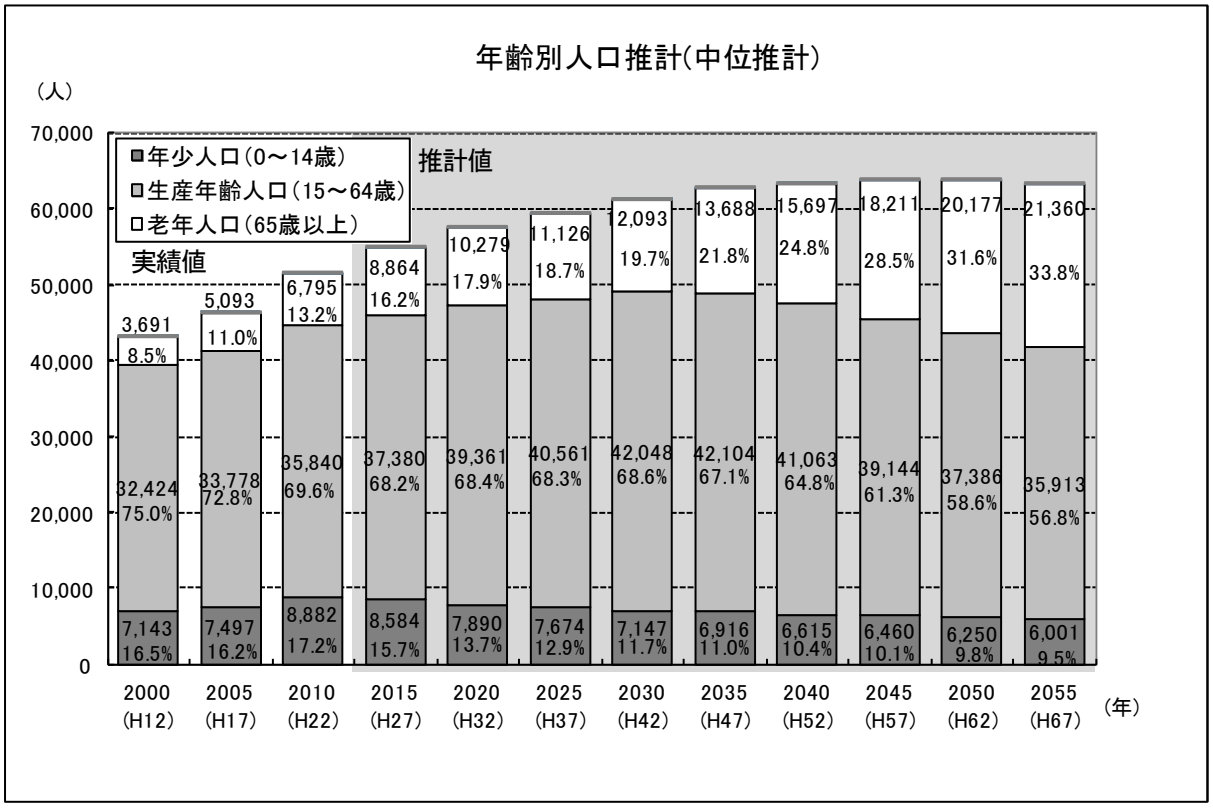
（２）年齢別人口

2010 年国勢調査では、年少人口（0～14 歳人口）の比率が 17.2%と県内 4 位、生産年齢人口（15～64 歳人口）の比率が 69.6%と県内 1 位、老年人口（65 歳以上人口）比率が 13.2%と県内下位 1 位となっており、県内、全国と比較して年齢構成が若い傾向にあった。しかし、今後は本市においても少子化、団塊の世代をはじめとするシニア層の高齢化が進むものと見込まれる。

①年齢別人口推計（中位推計）

人口規模をみると、年少人口は 2010(H22)年の 8,900 人をピークに減少するのに対し、生産年齢人口は 2035(H47)年の 42,100 人をピークに減少、老年人口は増加し続けて将来は 2 万人を超えるものと見込まれる。

人口比率をみると、年少人口比率は将来 10%を下回り、一方、老年人口比率は 30%以上に増加すると見込まれる。

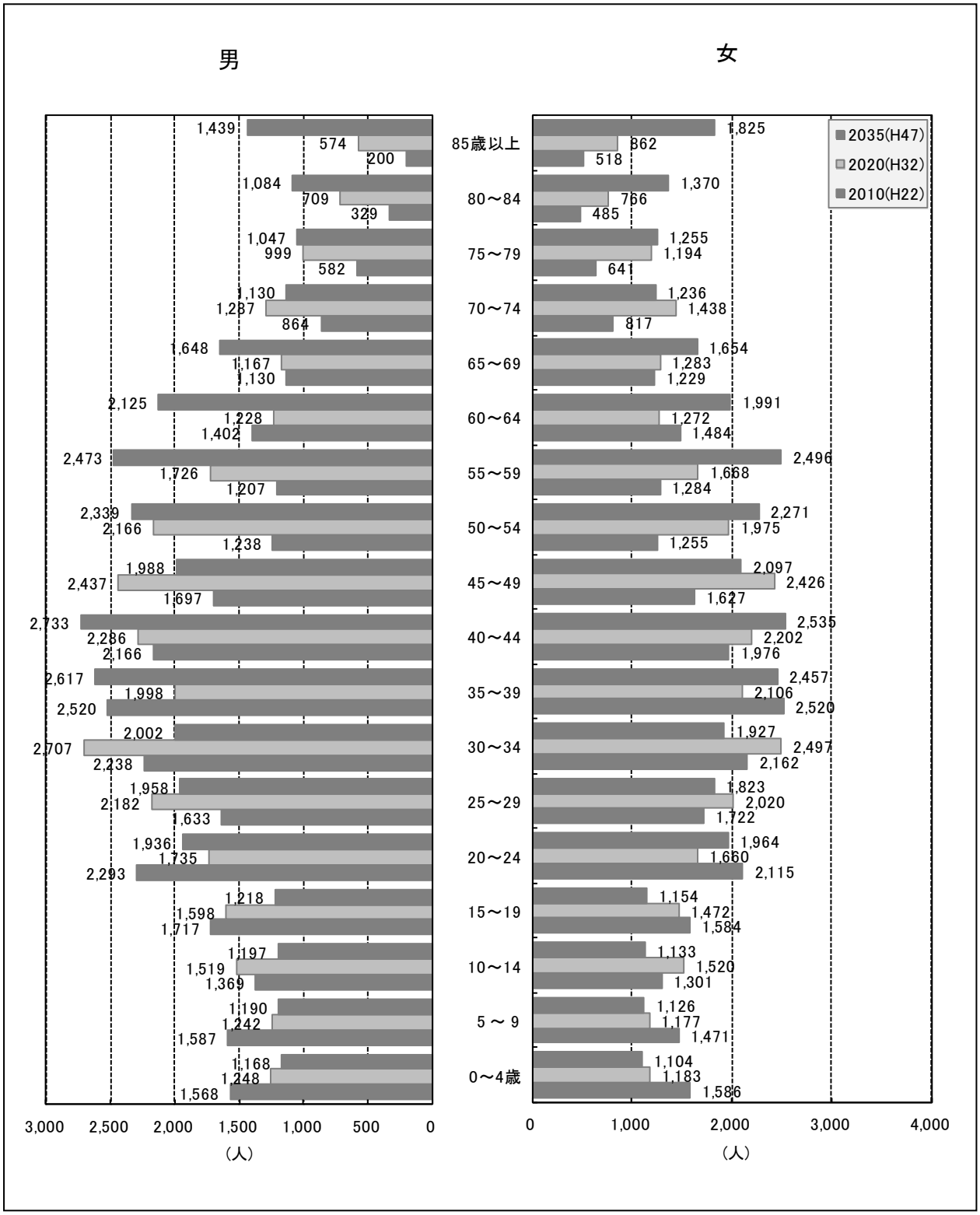


資料：「国勢調査」「愛知県人口動向調査」による推計

②５歳階級別人口推計（中位推計）

中位推計において年齢構成を細かくみると、65 歳以上の増加が顕著である。一方、30 代前半から下の年齢の減少が顕著である。

５歳階級別男女別人口推計（中位推計）



（３）学区別人口

地区別の人口については、６つの小学校区に区分して推計する。推計値については、住民基本台帳人口を用いる。毎年 10 月 1 日現在の実績値が把握できることから、最新の 2011(H23)年と、その 5 年前の 2006(H18)の年齢別人口を活用し、コーホート変化率法により推計する。

①推計のための基礎数値

◆コーホート変化率

コーホートは同期間に出生した集団のことを指す。通常、国勢調査の調査年次のように５年間を基本とし、0～4 歳→5～9 歳といった５歳ごとの年齢層別の変化率を用いる。例えば、ある年齢層が 1 を超えていればその年齢層は増加、0 であれば増減なし、1 未満であれば減少していることを示す。以下に、学区別のコーホート変化率の算出結果を示す。

学区別のコーホート変化率（2006(H18)→2011(H23)）

2006(H18)の年齢 →2011(H23)の年齢	長久手小学校区	西小学校区	東小学校区	北小学校区	南小学校区	市が洞小学校区	市平均
0～4 歳→5～9	1.1838	0.8273	1.3033	1.1326	0.9469	1.5850	1.1288
5～9→10～14	1.0396	0.8857	1.0345	1.0286	0.9984	1.1628	1.0193
10～14→15～19	1.0384	0.9895	1.0160	1.0523	1.0882	1.1641	1.0615
15～19→20～24	1.1425	1.2994	0.9630	1.2739	1.2257	1.4020	1.2309
20～24→25～29	1.0826	1.0932	0.6943	1.1715	0.8648	1.4532	1.0546
25～29→30～34	1.0548	1.0314	0.9779	1.3076	1.0765	1.8628	1.2232
30～34→35～39	1.1113	0.8888	1.0684	1.1731	0.9979	1.6793	1.1485
35～39→40～44	1.0575	0.8839	1.0269	1.0840	0.9113	1.3858	1.0411
40～44→45～49	1.0210	0.8706	0.9835	1.0684	0.9497	1.2483	1.0134
45～49→50～54	1.0073	0.9345	0.9516	1.0506	0.9691	1.1417	1.0074
50～54→55～59	0.9454	0.9417	1.0000	1.0514	0.9981	1.0780	1.0004
55～59→60～64	0.9867	0.9164	1.0137	1.0515	0.9661	1.1097	0.9997
60～64→65～69	0.9553	0.9375	1.0037	0.9795	1.0024	1.1162	0.9923
65～69→70～74	0.9345	0.9427	0.9658	0.9580	0.9521	1.0922	0.9665
70～74→75～79	0.8792	0.8846	0.9435	0.9495	0.9378	1.0470	0.9319
75～79→80～84	0.8571	0.8913	0.9692	0.8951	0.8571	0.8593	0.8846
80～84→85～89	0.7231	0.8421	0.7955	0.7350	0.6832	0.9067	0.7706
85～89→90～94	0.5303	0.6275	0.6122	0.6176	0.6596	0.7500	0.6291
90～94→95～99	0.2414	0.2727	0.3125	0.3333	0.5000	0.6970	0.4013
95～99→100 歳以上	0.3750	0.2500	0.3333	0.2857	0.5000	0.1667	0.2857

資料：「住民基本台帳人口（2006 年 10 月及び 2011 年 10 月）」をもとに算出

◆出生人口に関する数値（再掲）

出生人口については、総人口の推計と同じく、「日本の市区町村別将来推計人口」の子ども女性比と 0～4 歳人口の性比が把握できるため、その数値を用いる。

子ども女性比及び 0～4 歳性比（再掲）

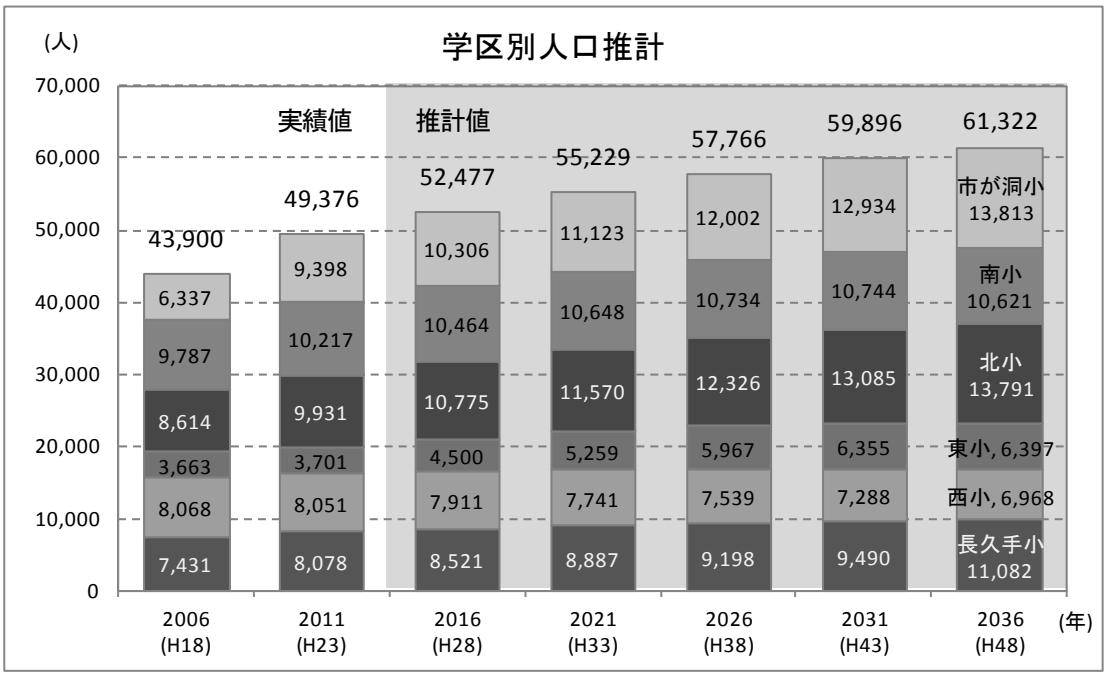
	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年
子ども女性比	0.17165	0.16604	0.17386	0.18259	0.18616
0～4 歳性比	105.79	105.8	105.8	105.8	105.81

資料：「日本の市区町村別将来推計人口（2008(H20)年 12 月推計)」

②学区別推計における留意点

北小学校区と市が洞小学校区については、2006 年から 2011 年にかけての 5 年間で急激な人口増加があったため、自学区のコーホート変化率を用いると現実の予測とかい離する。

そこで、この 2 つの学区は市平均の変化率により推計した。その他 4 つの学区は自学区の変化率により推計した。



資料：「住民基本台帳人口」（2006 年と 2011 年の各年 10 月 1 日）をもとに算出

③推計結果

◆長久手小学校区

今後土地区画整理事業が予定されている長久手中央地区を含む地区で、その他にも散在する未利用地に戸建て住宅を中心に継続的に建設が行われると見込まれる。

この結果、人口は 2011(H23)年の 8,078 人から、10 年後の 2021(H33)年には 8,900 人、25 年後の 2036(H48)年には 9,700 人に増加すると設定する。

高齢化率は、2011(H23)年の 16.6%から、10 年後の 2021(H33)年には 18.9%、25 年後の 2036(H48)年には 20.8%に増加すると設定する。

◆西小学校区

土地区画整理事業が完了・概成済であり、市内で最も早くから人口集積が進んだ地区である。宅地化が進み、市街地が成熟している地区である。

この結果、人口は 2011(H23)年の 8,051 人から減少し続け、10 年後の 2021(H33)年には 7,700 人、25 年後の 2036(H48)年には 7,000 人と設定する。

高齢化率は、2011(H23)年の 12.9%から、10 年後の 2021(H33)年には 20.2%、25 年後の 2036(H48)年には 28.2%と急激に増加すると設定する。

◆東小学校区

全体としては都市計画法上の市街化調整区域であるが、今後、一部地区で民間による住宅地開発や区画整理事業が行われる予定で、3,000 人以上の増加が見込まれる地区である。

この結果、人口は 2011(H23)年の 3,701 人から 10 年後の 2021(H33)年には 5,300 人、25 年後の 2036(H48)年には 6,400 人に増加すると設定する。

高齢化率は、2011(H23)年の 24.2%から、10 年後の 2021(H33)年には 25.5%、25 年後の 2036(H48)年には 25.7%に増加すると設定する。

◆北小学校区

大規模集合住宅の整備が予想される下山地区を含み、近い将来、急激な人口増加が予想される地区である。

この結果、人口は 2011(H23)年の 9,931 人から、10 年後の 2021(H33)年には 11,600 人、25 年後の 2036(H48)年には 13,800 人に増加すると設定する。

高齢化率は、2011(H23)年の 13.7%から、10 年後の 2021(H33)年には 17.9%、25 年後の 2036(H48)年には 22.8%に増加すると設定する。

◆南小学校区

土地区画整理事業が完了・概成済であり、市内で早くから人口集積が進んだ地区である。宅地化が進み、市街地が成熟している地区である。

この結果、人口は 2011(H23)年の 10,217 人から、10 年後の 2021(H33)年には 10,600 人、20 年後の 2031(H43)年の 10,700 人をピークに減少し、2036(H48)年には 10,600 人になると設定する。

高齢化率は、2011(H23)年の 12.1%から、10 年後の 2021(H33)年には 18.3%、25 年後の 2036(H48)年には 27.3%と急激に増加すると設定する。

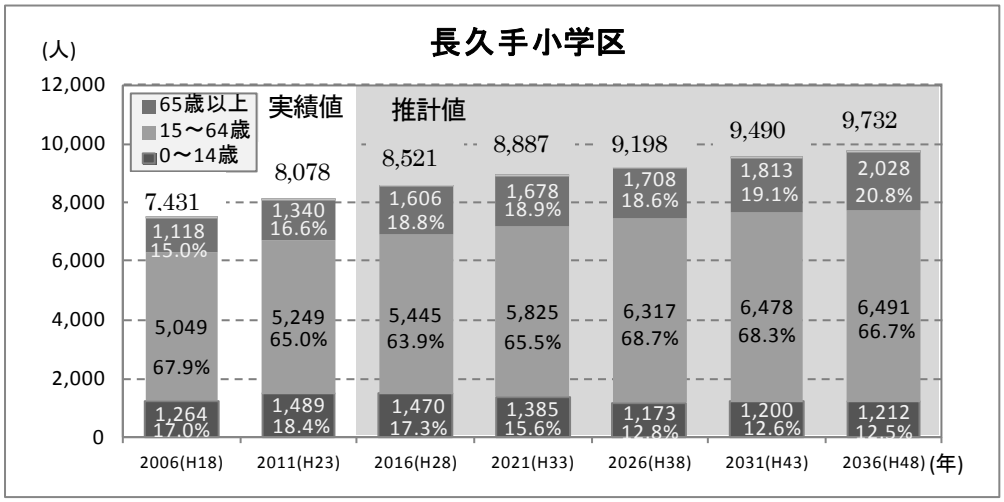
◆市が洞小学校区

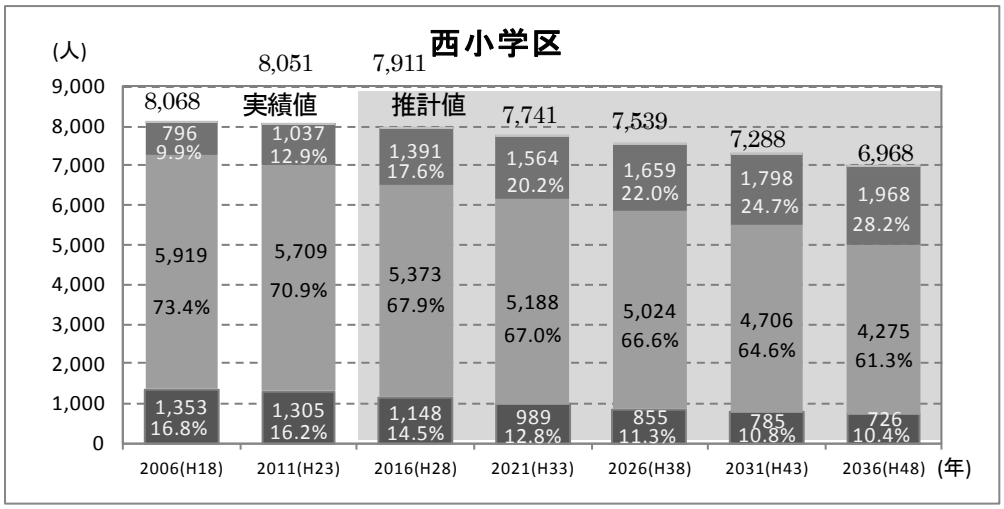
土地区画整理事業地区が進行している長湫南部地区を含み、今後もしばらく人口増加が予想される地区である。

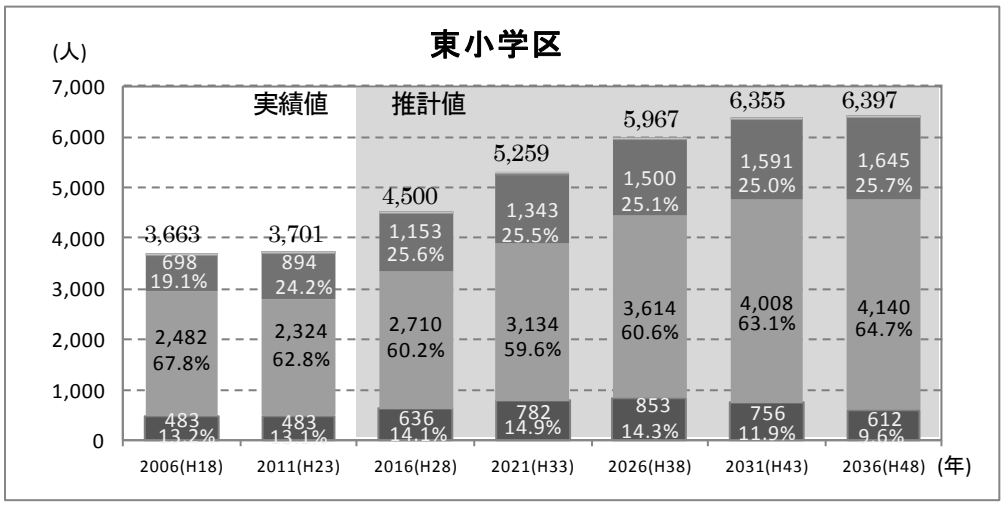
この結果、人口は 2011(H23)年の 9,398 人から、10 年後の 2021(H33)年には 11,100 人、25 年後の 2036(H48)年には 13,800 人に増加すると設定する。

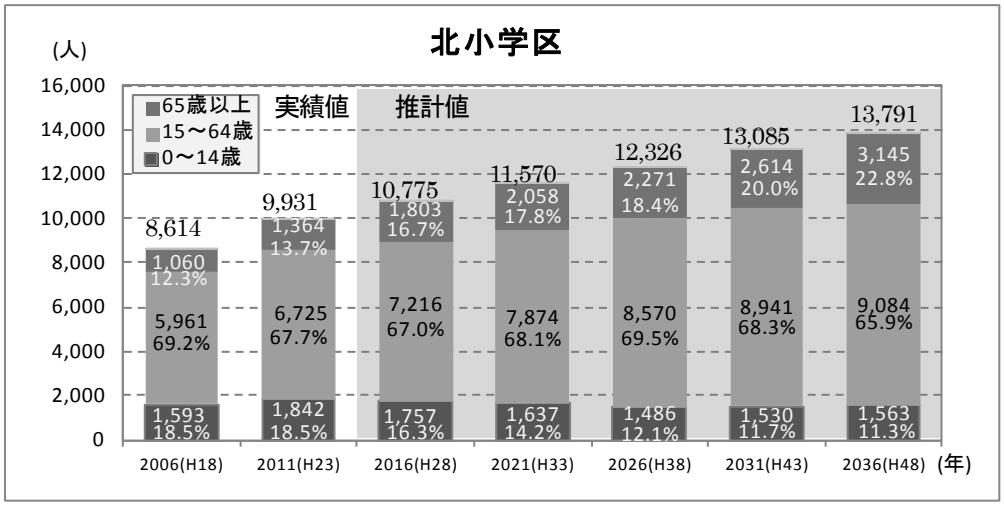
高齢化率は、2011(H23)年の 10.2%から、10 年後の 2021(H33)年には 13.0%、25 年後の 2036(H48)年には 18.6%と、他の学区と比べて低く推移すると設定する。

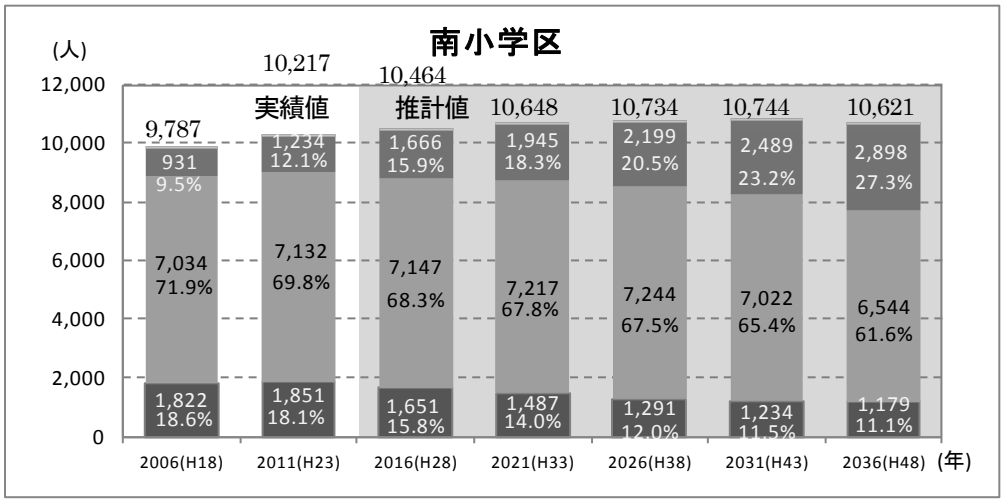
学区別年齢３階級別人口推計

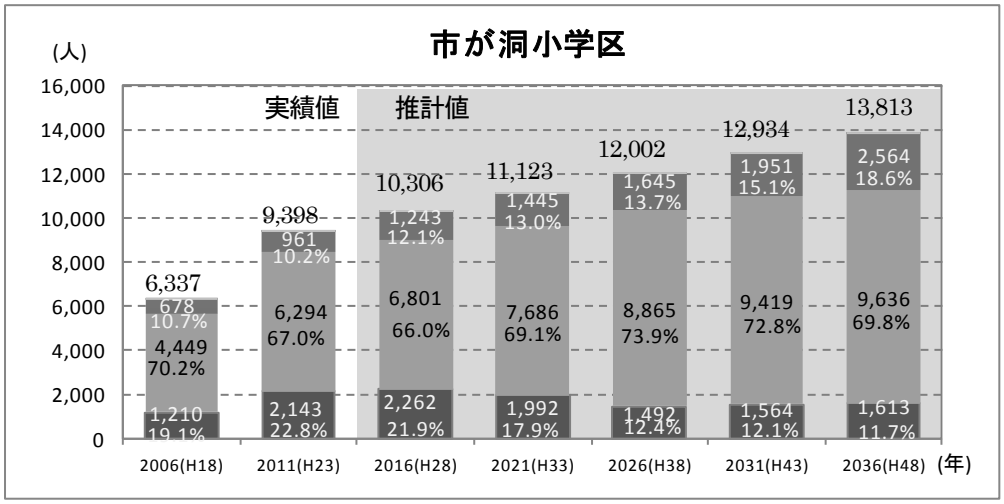







北小学区
(人)
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
65歳以上
15～64歳
0～14歳
実績値
推計値
8,614
1,060 12.3%
5,961 69.2%
1,593 18.5%
9,931
1,364 13.7%
6,725 67.7%
1,842 18.5%
10,775
1,803 16.7%
7,216 67.0%
1,757 16.3%
11,570
2,058 17.8%
7,874 68.1%
1,637 14.2%
12,326
2,271 18.4%
8,570 69.5%
1,486 12.1%
13,085
2,614 20.0%
8,941 68.3%
1,530 11.7%
13,791
3,145 22.8%
9,084 65.9%
1,563 11.3%
2006(H18)
2011(H23)
2016(H28)
2021(H33)
2026(H38)
2031(H43)
2036(H48)
(年)


南小学区
(人)
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
実績値
推計値
9,787
931 9.5%
7,034 71.9%
1,822 18.6%
10,217
1,234 12.1%
7,132 69.8%
1,851 18.1%
10,464
1,666 15.9%
7,147 68.3%
1,651 15.8%
10,648
1,945 18.3%
7,217 67.8%
1,487 14.0%
10,734
2,199 20.5%
7,244 67.5%
1,291 12.0%
10,744
2,489 23.2%
7,022 65.4%
1,234 11.5%
10,621
2,898 27.3%
6,544 61.6%
1,179 11.1%
2006(H18)
2011(H23)
2016(H28)
2021(H33)
2026(H38)
2031(H43)
2036(H48)
(年)


市が洞小学区
(人)
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
実績値
推計値
6,337
678 10.7%
4,449 70.2%
1,210 19.1%
9,398
961 10.2%
6,294 67.0%
2,143 22.8%
10,306
1,243 12.1%
6,801 66.0%
2,262 21.9%
11,123
1,445 13.0%
7,686 69.1%
1,992 17.9%
12,002
1,645 13.7%
8,865 73.9%
1,492 12.4%
12,934
1,951 15.1%
9,419 72.8%
1,564 12.1%
13,813
2,564 18.6%
9,636 69.8%
1,613 11.7%
2006(H18)
2011(H23)
2016(H28)
2021(H33)
2026(H38)
2031(H43)
2036(H48)
(年)